

2011年(平成23年)1月18日

# 嘱託職員ブラジル派遣

## 豪雨災害で AMDA 同行し通訳



ブラジルへの派遣が決まり会見する  
譚さん(右) = 17日、総社市役所

土砂崩れや洪水で600人以上の死者が出たブラジル・リオデジャネイロ郊外の豪雨災害で、総社市は17日、

被災者支援のため、同国出身の嘱託職員譚俊偉さん(37)を国際医療ボランティアAMDA(岡山市)のスタッ

フに同行派遣すると発表した。

総社市は岡山県内最多のブラジル人427人(昨年12月末現在)が在住。外国人との共生などを狙いに2009年、AMDAと「多文化共生に関する協定」を締結しており、職員を被災地に派遣するのは初めて。

譚さんは、市役所のブラジル人相談窓口で通訳などを務めている。現地にはAMDAの看護師石岡未和さん(30)に同行。通訳をするほか、AMDAの活動に必要な生活・医療支援情報を民間団体や自治体から収集する。譚さんは会見で「母国の災害に心を痛めている。国の仲間のため頑張りたい」と話した。

18日に岡山を出発し、ドバイ経由で20日までに現地入り。2月1日に帰国する予定。

総社市役所玄関ロビーには被災者支援の募金箱を設置。AMDAを通じて、現地の支援団体などに届ける。

(新田真浩)